

マネージドPKI for IoT

IoT機器向けに、製造段階から大量に電子証明書を配布することが可能なSaaS型認証局運営サービス



マネージドPKI for IoTとは

「マネージドPKI for IoT」は、数十万から数億枚という大量のアイデンティティ (ID) 管理が必要なIoTデバイスに対して、製造段階からスピーディかつ大量に電子証明書を配布することが可能なSaaS型認証局運営サービスです。

証明書を利用する環境に応じて、発行する証明書の形式や有効期間などをカスタマイズすることができます。

サービスの特徴

1 毎秒3,000枚の 大量発行



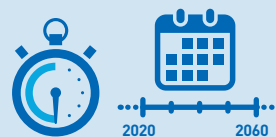
お支払いいただく価格により、毎秒で発行可能な速度が変わります。最速で3,000枚/秒による発行が可能です。

2 2種類の認証局 から選択可能



利用シーンに応じて、パブリック認証局またはプライベート認証局を選択することができます。選択した認証局の形式に応じて、発行される証明書が異なります。

3 幅広い 最長有効期間



プライベート認証局の形式から発行される証明書の場合、最長40年で発行することが可能です。これにより、長期にわたって利用が見込まれる機器などへの証明書のインストールを頻繁に行う必要がなくなります。



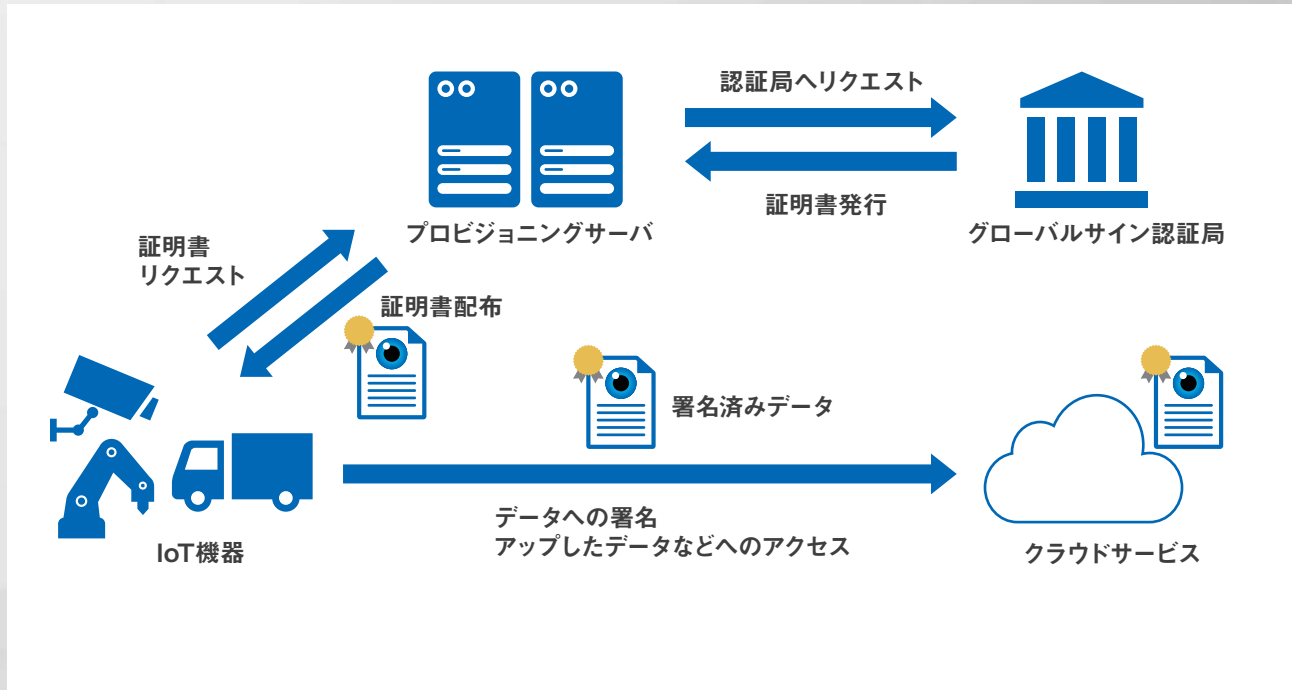
IoTとセキュリティ

IoTとは、「Internet of Things」の略で、あらゆるモノがネットワークで接続される概念のことです。IoTの進歩に伴い、機械同士が通信を行うM2M（マシン・トゥ・マシン）が普及し、市場規模が拡大されることが予想されます。インターネットに繋がるということは、これまでは無かった脅威に晒されることになり、セキュリティの重要性が増しています。



利用例

グローバルサインの認証局と、プロビジョニングサーバをAPIで連携することで、証明書の申請や配布を自動化することができます。



電子証明書をIoTセキュテリィとして組み合わせた利用事例

機器IDのプロビジョニング

電子証明書の発行要求をAPI経由でマネージドPKI for IoTに対して行います。発行された証明書を各種機器に配布することで、プロビジョニングされます。

機器の認可

機器ごとに設定しているサーバやデータなど、アクセス可能な情報を定義し、権利と許可情報を決定します。

機器認証

本人であると確認されたアクセス機器を識別して、特定のシステムやデータ、ファイルへのアクセス権限の制御を行います。

コード署名

プログラムやデータが第三者によって変更や改ざんがされていないことの証明を行います。どの機器で署名されたものか、タイムスタンプを使用することでいつ署名したかを判別することができます。